

平成28年6月24日

## 名古屋4種委員会大会事業における

### 熱中症対策について

名古屋サッカー協会4種委員長  
原 田 直 季

熱中症対策について、名古屋4種委員会のガイドラインをお知らせいたします。大会運営に関して、選手の安全にご配慮くださいますようお願いいたします。

1. WBGT = 31℃以上になり熱中症の危険のある場合、試合の中止・延期を検討してください。
2. WBGT = 28℃以上で大会運営する場合は、参加チームは必ず日除けテントを持参し、水・氷・飲料水などを用意する。安全に配慮してベンチに設置すること。日陰で「クーリングブレイク」を行うこと。
3. WBGT = 25℃以上で試合をする場合は、「クーリングブレイク」又は「飲水タイム」を行うこと。この場合の時間は試合時間に含めない。日陰が望ましい。
4. 飲料は水に限らず、スポーツ飲料を認めること。(会場施設に配慮)
5. 7月から9月までの期間で開催する大会については、ハーフタイムの時間を5分から10分とすること。大会運営は、熱中症対策にWBGT計を活用すること。

※プレーをする選手の熱中症対策に配慮して大会運営をお願いします。

※「クーリングブレイク」＝ ピッチ外の日陰で飲水や体を冷やす。

口頭のコーチングはOK。3分程度

※「飲水タイム」＝ ピッチ内で飲水しコーチングはしてはいけない。1分程度

今年に対応として、WBGT測定器をリーグ担当役員・リーグブロック長・会場に手配をしていきます。手配前で判断が難しい場合、競技委員長 久野まで相談ください。

競技委員長 久野修二 090-8070-5186